

第3回 高校改革フォローアップ委員会関係校協議会（要旨）

期 日：平成26年9月19日（金） 13:00～14:43

参加校：進学指導重点校（8校）中津南、宇佐、杵築、別府鶴見丘、臼杵、佐伯鶴城、竹田、日田

① 中学校との連携状況、特色ある学校づくりの工夫、地域の声を学校運営に活かす方策について

【取組事例】

- ・市内中学校への出前授業を通して、学習意欲の向上や高校に対する興味関心が高まっている。
- ・総合的な学習の時間を使い、地元の職業人からの講話や、市内の観光施設や事業所での進路に関する調査活動により、郷土愛を育む取組を行っている。
- ・PTA対象の教養セミナーや、市役所と連携した広報誌の中学生の家庭への配布などを行っている。
- ・中高のつなぎ教材を、中学校とも協議して作成している。

【課 題】

- ・中学校には一つの高校とだけ連携できない事情があり、学校間連携の難しさがある。
- ・中学校と連携しているが、中学校の保護者には高校の情報があまり伝わっていない。

【対策・意見等】

- ・教科ごとの小さなつながりを積み重ねることが大切である。
- ・地域の教育長や課長と直接話をすると良い。
- ・地域の学校の特色を効果的にPRするために、普通科と専門高校が共同して説明会を開催してはどうか。

※各地域で12年間を通して子どもたちを育てる雰囲気醸成していただきたい。

※高校のビジョンがわかりにくいという指摘があるが、学校案内を工夫したり、キャッチフレーズをつくらせている高校があるなど独自の取組がみられる。今後、学校案内等を工夫し、学校の教育内容や特徴を分かりやすく発信できる取組をお願いしたい。

※中学校や地域との連携に努めてもらっているが、地域に伝わっていない現状がある。今後は地域に出て行き学校の成果や様子を発信する取組も必要である。

② 授業改善の取組状況について

【取組事例】

- ・授業観察評価シートで、思考力・判断力・表現力等の育成や生徒の言語活動の充実などの項目を4段階で評価し、授業改善の意識改革と授業の質の向上に役立てている。
- ・生徒による授業アンケートの実施後、結果を各教員自身が課題と改善点について反省するとともに、教科会議や職員会議で検討することで、組織的な改善を目指している。
- ・各教員の授業をDVDに録画し、生徒による授業アンケートと併せて自己分析をさせている。
- ・授業力向上対策として、授業評価、互見授業及び初任研などを一覧表にして「みえる化」し、意識を高めている。
- ・指導教諭が中心となり、教員が輪番で入試問題を解き教科会議で検討している。

【課 題】

- ・思考力等を高める授業改善が進んでいない。
- ・難関大学を受験する生徒を指導した経験がない教員がみられる。
- ・授業力に関して教員格差がみられる。
- ・教員に授業改善の必要性の意識はあるが、改善方法が分からない者もいるのではないか。

【対策・意見等】

- ・進路指導部が方針を示し、各教科で大学入試問題を解き、全職員で傾向と対策を協議している。
- ・授業観察と反省会を行い、管理職が教員一人一人とじっくり話しをする時間を確保している。
- ・指導主事に模範的な授業を行ってもらうなど目標を示してもらえるとありがたい。

※授業改善は、生徒一人ひとりの進路希望達成のために行うものだという意識を、全職員で共有してほしい。

※学力向上の本丸は授業であり、授業の質の向上に対し、組織的に取り組むことが大切である。

※複数教頭のうち、一人を核にして先生方の意識改革や授業改善に積極的に取り組んでほしい。